

北陸地方整備局では、9月第4週を「建設労働災害防止週間」とし、建設工事等における労働災害の防止に向けての活動や啓発等を行っています。松本砂防事務所では、令和8年9月30日（水）に大町市文化会館サン・アルプスにおいて「建設労働災害防止大会」を工事・業務受注者等76名が参加し開催しました。今回は平成8年12月6日に発生した蒲原沢土石流災害から30年という節目の大会となることから、災害を風化させることなく、安全管理の基本に立ち返るとともに、最新の技術動向等をふまえ、これからの進むべき方向性を考えるため、大町建設基準監督署及び協議会長から、最近の建設工事における災害事例や安全対策の変遷などの講話を行いました。最後に参加者全員で、建設労働災害の撲滅向け「安全スローガンの確認」及び「工事安全宣言」を行い、各現場で無事故・無災害に引き続き取り組むことを誓いました。



協議会長(松本砂防事務所長)による講話
「蒲原沢土石流災害30年 砂防工事安全対策の変遷」



大町労働基準監督署による講話
「建設工事における災害事例と安全対策について」



安全スローガン確認



(株)笠原建設 嶋田氏による安全宣言

安全宣言

私達、松本砂防事務所工事安全対策協議会は、毎日より労働災害・公害ハザードを目標に、工事活動等における安全教育・訓練、並びに安全ハザードの未然などの安全活動に積極的に取り組んでいます。私達が進めている砂防工事は、地域や流域に住む人たちの安全・安心の確保や国土の保全を使命としており、その工事で労働災害が絶対に防がなければなりません。

しかし、砂防工事は、限られた時間、限られた範囲で、突如として発生する土石流や洪水などのリスクを伴うため、事前の調査、計画、準備など様々なリスクを伴う工事であり、万全の対策が必要です。今年度は、令和8年度から30年という節目の大会となりました。この災害の教訓を私達は風化させることなく、また、日々の工事でも生じる労働災害を防止するため、工事安全に対する技術向上に努めること、日々のKY活動や各種安全ハロー、作業員の健康管理、集中力低下などの防犯対策を徹底させることなく、一人一人が安全を徹底して行うことが必要です。

また、建設現場の能力向上や安全意識の向上、インフラ分野などの建設現場の改善に引き続き取り組むことが重要です。私達は、本日建設労働災害防止大会を開催し、建設現場等の無事故・無災害で完成の日を迎えられるよう、安全管理を徹底する事をここに宣言します。

一、土石流や急激な水位上昇に備えた早期の避難。
一、燃焼・転倒災害、建設機械・クレーン災害。
一、崩壊・倒壊災害の建設三大災害の撲滅。
一、熱中症による災害の撲滅・完全週休二日を定めて、
次世代の若手が活躍できる現場環境を構築する。

令和8年九月三十日。 松本砂防事務所工事安全対策協議会
建設労働災害防止大会

工事安全宣言



(株)北野 斉藤氏による安全スローガンの確認

安全スローガン

「早く帰ってきてね」
今日の安全が君との約束
（川瀬建設 株式会社 吉本 紀子）

「暑い現場に互いの目配り」
声掛け合って熱中症ゼロ
（金沢建設 株式会社 松沢 実）

「危ない」と感じた時に即改善
みんなで作ろうゼロ災害職場
（株式会社 笠原建設 嶋田 裕介）

松本砂防事務所工事安全対策協議会
令和8年九月三十日 建設労働災害防止大会